

城内に綏來縣衙門あり軍隊は副將一、都司一、ありて歩隊二營、馬隊一旗を統べ、建築物としては四川會館稍々觀るべし。翌二十八日降雪の爲め更に一泊す。

此地當年血戰場

腥風吹度壞殘牆

新修樓閣雲間聳

尙記方中詩不忘

二、瑪納斯渡河の大車

三月二十九日六工リユートンを経て行程約六里石河子シホズに到る。道路は瑪納斯、六工間は砂礫、六工、石河子間は細砂なれば前半は能く走るべく、後半は稍々難し。其地形、前半は開濶なるも後半は蔭蔽せり。而して瑪納斯を距る數町に瑪納斯河あり。河幅一里餘あるも水幅僅に七米突に足すと雖も、流速の急なる爲め橋を架せり。平時は斯る小川なれども、一旦出水あれば忽ち汎濫して、滔々一里に溢るゝに至る。此時官衙特設の大車、輪の中徑七尺に亘るものを牛馬に輓かして、其の交通を保持す。されど往々缺陷部ありて五尺乃至一丈の深さに達し、溺死者を出すこと、亦尠からずと云ふ。石河子は人家約一百、其の北方七八里の地に在る葦湖の畔には虎多く、夜間時々石河子に出でて、牲口を奪ひ去ること有り。

瑪納斯河
と出水時

猛虎の出
没